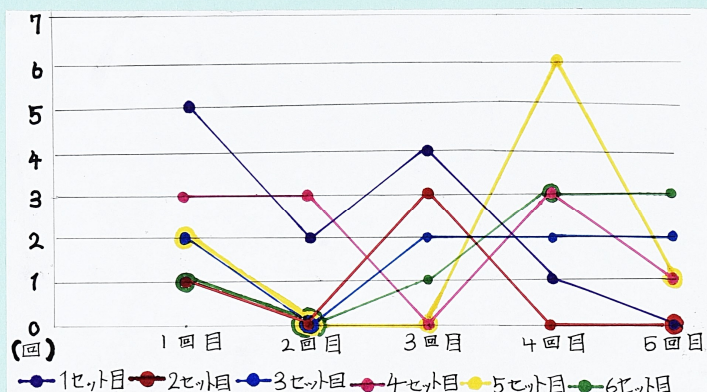


私のピアノ演奏成功率の傾向調査

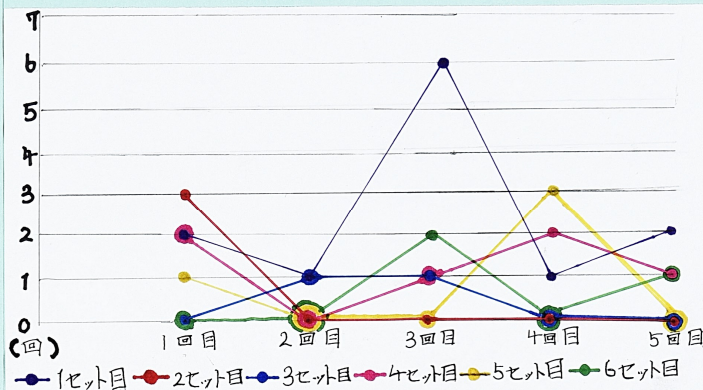
～自分の傾向とルーティンを知る～

(2曲5回=1セット)×1日3回×2日間 計6セット 60回をひく中でミスの回数を調べた。
(2019年8月15,16日)

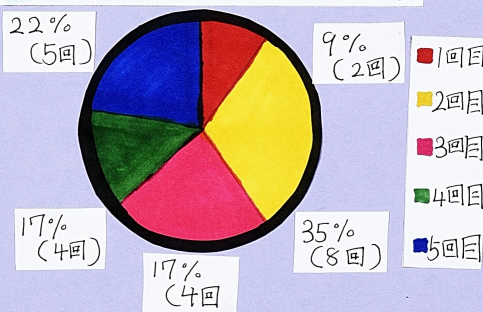
曲①のミス回数



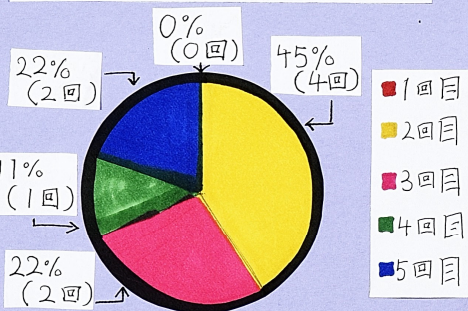
曲②のミス回数



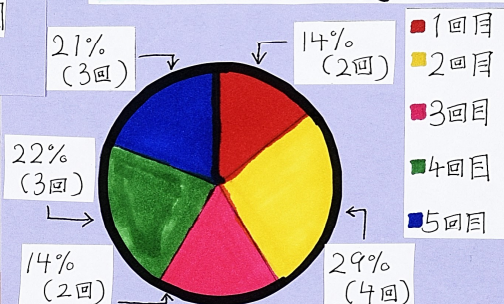
全体ノミス回数(23/60回)



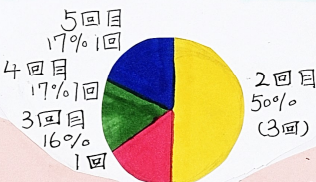
曲①ノミス回数(9/30回)



曲②ノミス回数(14/30回)



2曲ともノミス6/30回



結果

ノミス回数は曲①:9/30回(30%) 曲②:14/30回(47%)であった。2曲ともノミスでひけたのは、9回目6回(20%)であった。

1セット連続5回ひく中で、全体的にミスの回数が多いのは1・3・4回目。2回目がノミスでひける確率が高い。(2回目がノミスでひけた回数は全60回中8回。1回目が一番少なく2回。2回目の成功率は1回目の約4倍になっていた。また2曲ともミスの6回のうち2回目の成功率が半分だった。

分かったこと

2回目の成功率が高く、1・3・4回目のミス回数が多かったという結果から、エンリールは、先ず勝負だが、1回目(ひき始め)はミスしやすい。自分の傾向から本番直前には指慣らしを適度にして、心と体を2回目の精神状態で持っていくことがノミスでひけるコツだと思った。

1曲目に失敗すると、2曲目にも失敗を引きずる傾向があるので、気持ちを切り替えることを意識することが大事だと思った。

空腹や夜食など、食事のせいで状況によるミスへの不安は、あまり感じられなかった。

朝一番練習(14時台)のミス回数が少なく、朝一番が最も良い傾向があることが分かった。

調査時間がざりざりになってしまったり、あせりがある時にミスが多くなってしまった。あわてないように時間に余裕をもって本番にのぞむことが大切だと思った。